

「連携についてのお話」

やまだリハビリテーション研究所 所長  
作業療法士 山田 剛

1. 連携について共通なこと

Give&take は間違っているということを理解する

2. 連携のために必要なこと

- 共通の目的があること
- 共通の言語があること
- 相手の情報があること
- 連携することでメリットがあること
- 相手のことを察する努力

3. 他職種のことを知る努力

(ア) 勤務のスケジュール

① ケアマネの場合

1. 月初・月末は訪問・レセプトで忙しい
2. ねらい目は7日～15日ごろ
3. 居宅訪問しているので昼間むずかしい、9時～10時頃がおすすめ

② 病棟看護師

1. 勤務スケジュール把握しよう
2. 具体的に質問しよう
3. 代行患者さんの情報はセラピスト同士で行う
- 4.

4. 院内連携

共通の目的があり、専門用語が通じる  
同僚であり、いつでも話ができる

5. 院外連携

(ア) 事業所とのお付き合いになります

① 病院の方針や医師の方針によって医師との連携は左右されます。

1. 家族経由の情報提供が好まれる場合もあります。
2. あいさつに来ないところに指示書は書けないっていう医師もいます。

(イ) 退院前カンファレンス

1. 訪問看護師やケアマネの参加率は高いのですが、リハの参加率は低い
2. 病院リハの専門用語を理解していないケアマネや看護師もいます。

(ウ) 医師との連携

① 看護師とリハの違い

1. リハビリは細かな指示を出してもらえないし、安定している利用者さんなので細かな指示なくてもできてしまう
2. 看護師は投薬や褥瘡の処置など細かな指示が必要なので、こまめに近隣医師と連絡を取っている。
3. 利用者さんと同行して受診する看護師も多い

7. 急性期—回復期—維持期(生活期)の連携

- ① 書類の返事がないから作るのやめたい
- ② どこに行ったかわからない
- ③ 退院して間隔があきすぎ、だからサマリーが作れない

(イ) すべてを解決できます。

- ① 顔の見えるお付き合いがすべての課題を解決するんです。
- ② 事業所ごとに顔の見えるスタッフを増やしましょう

(ウ) 連携のメリットは誰のものですか・

- ① 書類の返事がない  
⇒⇒自己満足で書類を作っているのですか？
- ② 利用者さんがどこに行ったかわからない  
行った先のスタッフから連絡がないのはなぜですか？
- ③ 「あそこの事業所は・・・」  
事業所のことを知ってもらう努力をしていますか？

6. お互いが努力しあうことが真の連携につながります。

7. リハマネ加算とか生活行為向上リハビリテーション実施加算などのこと  
多事業所、多職種連携に必要なこと